

とよさと

議会だより

TOYOSATO
ASSEMBLY

第51号

2012年11月



議会改革をめざし 新たな飛躍を

9月定例会

平成23年度一般会計などを認定	2
豊日中学校にランチルーム建設	3
常任委員会での質疑	6～8
一般質問 ここが聞きたい	9～17
メガソーラーと風力発電・震災は 兵庫県淡路市などを視察研修	18

12月定例会は
12月10日(月)
開催予定です



江州音頭発祥の地

一般会計

収入 38億3,467万2,495円

支出 35億6,882万7,057円

差引 2億6,584万5,438円

9月定例会

9月10日～25日

平成23年度一般会計と 5つの特別会計決算を認定

- 今定例会に町長から提出された案件は、合計19件（内訳は報告2件、同意1件、諮問1件、条例改正2件、規約・協定変更2件、補正予算5件、決算認定7件）でした。
- 提出された議案のうち、同意案件など5件は初日（10日）に可決し、協定変更、補正予算と決算認定の11議案および請願6件を、それぞれ常任委員会に審議付託しました。
- 最終日（25日）に各常任委員長から委員会報告がされた後、一般会計補正予算（撤回後、新たに提出）など、他の議案も原案どおり可決され、請願については、1件の継続審査をのぞき他5件は不採択と決しました。

特別会計

（国保・簡易水道・下水道・介護・後期高齢者）

収入 19億2,118万4,282円

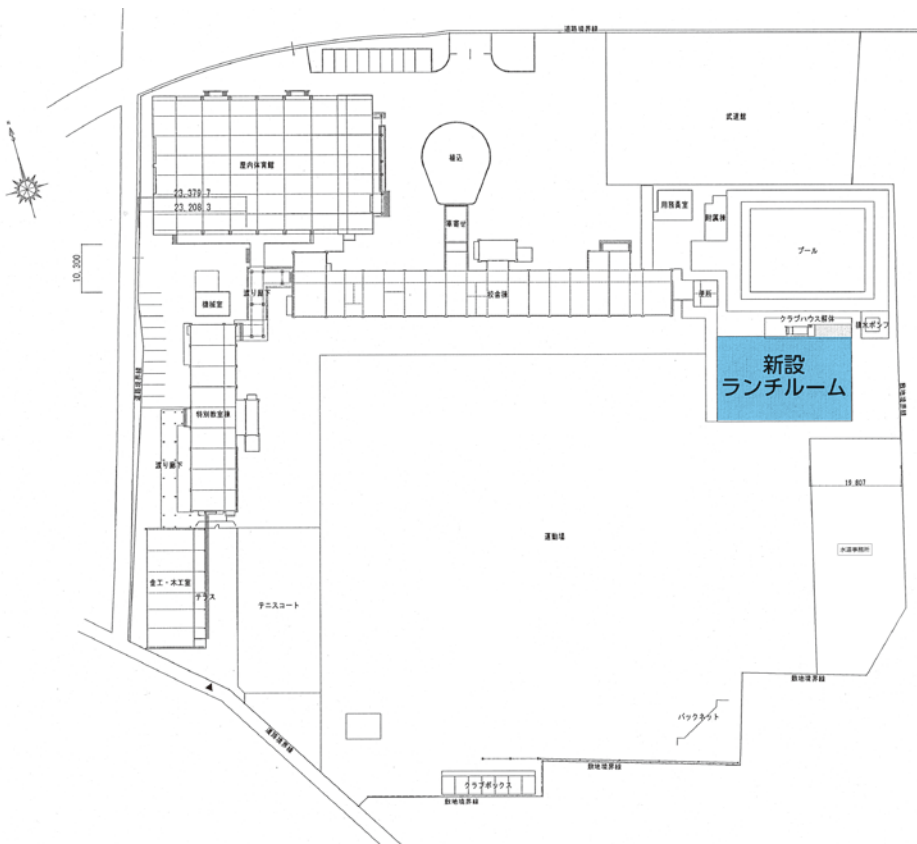
支出 18億8,697万2,480円

差引 3,421万1,802円

中学校にランチルームの 早期実現

中学校給食実現のため、彦根市と締結した定住自立圏形成協定の変更で、彦根市と給食センターを建設することを議決しました。この変更の中には、企業の誘致等も含まれています。

議会に提出された、1,000人余の請願署名を十分に考慮し協議を重ねた結果、一日も早く中学校給食が実現され、今後の町財政やコスト等を議論した結果、豊日中学校の下記の場所にランチルームを建設し、生徒・保護者の皆さんの期待に答えたいと、町行政・教育委員会に提言し、早期実現の回答をもらいました。



豊日中学校配置図



平成24年度一般会計補正予算撤回

住宅費・改良住宅譲渡に関する、住宅修繕費の補正予算案は常任委員会で否決された。

平成24年度一般会計補正予算再提出

住宅修繕費 2,277 千円 → 0 円（再提出）

平成24年度一般会計補正予算可決

改良住宅譲渡委員会を早期に開催し、不公平が生じないよう今一度指針をまとめ、譲渡に取り組むべき。

審議の結果

○=賛成 ×=反対

平成24年9月定例会	議員名											結果	
	前田	西山	西澤(博)	鈴木	西澤(き)	西村	佐々木	中島	河合	今村	北川		堀
豊郷町教育委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○		可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○		可決
湖東広域衛生管理組合規約の変更につき議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○		可決
豊郷町防災会議条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○		可決
豊郷町災害対策本部条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○		可決
彦根市と締結した定住自立圏形成協定を変更することにつき議決を求めること	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○		可決
平成24年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)議案の撤回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成24年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		可決
平成24年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成24年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成23年度豊郷町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
議案の訂正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成23年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
平成23年度豊郷町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成23年度豊郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成23年度豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
平成23年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
平成24年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
「こんな時に消費税増税実施は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×		不採択
陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×		不採択
「こんな時に消費税増税は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×		不採択
運転停止中の原子力発電所について、現時点での再稼働をしないことを求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×		不採択
県立高校の統廃合に関する請願													継続審査
豊日中学校での自校方式によるランチルーム給食の早期実現を求める請願書	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×		不採択
議員派遣の件	異議なし												

(議長は採決に加わらないため空白)

常任委員会での質疑

総務常任委員会

9月14日

委員名	出	欠
佐々木	出	
西村	出	
北川	出	
西澤博	出	
堀	出	
中島	出	
河合	途中より退席	
今村	出	

彦根市と締結した定住自立圏形成協定を変更すること

問 定住自立圏の変更により町内企業にメリットは。

答 企業に対する融資の幅が広がる等、企業の活性化、雇用の拡大につながる

問 延滞金の件数は。

答 302件。主に住民税、固定資産税。

問 地域づくり推進事業費（頑張る自治区応援プログラム補助金）の事業内容は。

答 各字江州音頭の継承および地デジ（公民館）等に使用した。

一般会計補正予算

質疑終結後、討論なし
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

質疑終結後、
反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(511)で可決

一般会計決算

問 税の未納額について、今後の取り組みは。

答 法的手段も含めて、進めていくものと、職員の努力を促す。



地デジに変更（安食南 やりこの館）

「こんな時に消費税増税実施は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書

反対討論、賛成討論の申し出あり

採決の結果、賛成少数
(115)で不採択

陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書

質疑終結後、
反対討論、賛成討論の申し出あり

採決の結果、賛成少数
(115)で不採択

「こんな時に消費税増税は行わないこと」との意見書の提出を求める請願書

反対討論、賛成討論の申し出あり

採決の結果、賛成少数
(115)で不採択

運転停止中の原子力発電所について、現時点での再稼働をしないことを求める請願

反対討論、賛成討論の申し出あり

採決の結果、賛成少数
(115)で不採択

文教民生常任委員会

9月12日
9月13日

委員名	9/12 出欠	9/13 出欠
中島	出	出
北川	出	出
前田	出	出
西山	出	出
鈴木	出	出
西澤さ	出	出
西村	出	出
今村	出	出

彦根市と締結した定住自立圏形成協定を変更すること

問 豊日中学校ランチルームの位置、規模は。
答 グラウンド東側プールの南側に440㎡で考えている。

質疑終結後、反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

一般会計補正予算

問 中学校耐震診断業務委託箇所は。

答 法律の改正により、機械室の診断も義務化されたため。

質疑終結後、討論なし
採決の結果、全員賛成
(710)で可決

一般会計決算

問 学力到達度診断委託の結果は。

答 相對評価での結果、年々学力の向上が見られる。

問 臨時講師（報酬）の内訳は。

答 両小学校2人、中学校3人の7人分

問 幼稚園教諭の内訳は。

答 正規職員4人、臨時職員4人。

問 文化教養振興事業の内容は。

答 町内5河川を調査し、すべて基準以下であった。

問 フロアアイコンサート5回、文化講座、江州音頭の普及事業など。

答 豊栄のさと改修の進捗状況は。

答 設計を発注中であり、今年度中には完了はむずかしい。来年の6月頃までかかる予定。

問 隣保館デイサービスの利用状況は。

答 月2回実施している。全町で35／36名利用されている。

問 外国人登録人数は。

答 81世帯、135人（7か国）。永住者は50人。

問 職業安定協力員の活動実績は。

答 214日中、相談業務が542件、242人。そのうち12%が就職に至った。

問 環境対策費の水質調査委託料の調査結果は。

答 町内5河川を調査し、すべて基準以下であった。

問 任意の予防接種委託料の接種率は。

答 子宮頸がんワクチン28.7%（中1〜高1対象）、ヒブワクチン49.8%、肺炎球菌53.8%。

問 生活保護費の受給人数は。

答 97人。

問 出産祝金の対象人数は。

答 76人。

問 子育て支援センターの利用状況および事業内容は。

答 親子で11,576人利用。

問 高齢者インフルエンザ予防接種を受けた人数は。

答 991人、60.98%。

質疑終結後、反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

国民健康保険会計決算

問 資格証明書と短期保険証の件数は。

答 資格証明が30件、短期保険証は72件。

問 人間ドック、脳ドック助成事業補助の受診者は。

答 人間ドックは44人、脳ドックは17人。

質疑終結後、反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

後期高齢者医療会計決算

問 医療保険対象者人数は。

答 858人。

質疑終結後、討論なし
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

県立高校の統廃合に関する請願

請願の取扱について継続審査の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(512)で閉会中の継続審査

介護保険会計決算

問 介護保険第1号被保険者の特別徴収者と普通徴収者は。

答 特別徴収者が1,475人、普通徴収者は195人。

質疑終結後、反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成多数
(512)で可決

豊日中学校での自校方式によるランチルーム給食の早期実現を求める請願書

反対討論、賛成討論の申し出あり
採決の結果、賛成少数
(215)で不採択

産業建設常任委員会

9月20日

委員名	出欠
西澤さ	出
西山	出
前田	出
西澤博	出
鈴木	出
佐々木	出
堀	出
河合	出

一般会計補正予算

問 農業振興費の会場借上料15万円の内訳。

答 各字1万円で、今後の農業について話し合ってもらうため。

問 改良住宅の施設整備費、移転補償費2,277千円について、今後どのように進めるのか。

答 防水工事と境界工事を行う。

問 道路維持費の修繕は何箇所か。

答 町道12か所。

問 河川維持費で修繕する場所は。

答 三ッ池字内水路。

問 質疑終了後、

討論の申し出あり

採決の結果、全員反対(0-7)で否決

簡易水道会計補正予算

質疑、討論なし

採決の結果、全員賛成

(7-0)で可決

一般会計決算

問 農林水産業費の使用料35万円はどこ場所か。

答 旧サブセンターの使用料。

問 農業組合長報酬の算出方法は。

答 農家台帳に基づき、世帯数に550円+均等割

で支出している。世帯数は町内332世帯。

問 道路費の地元分担金はどの字か。

答 安食南、上枝、八町の里道の分担金。

問 河川費の地元分担金はどの字か。

答 吉田の水路分。

問 安全・安心住宅支援事業補助金の町内への経済効果は。

答 総工事費73,738千円中、申請者に対して11,599千円補助し経済効果があった。

問 改良住宅管理費の修繕料で、分譲に係る5件分の修繕料金はいくらか。

答 . . . (説明を受けたが、納得できないので、後で書面で提出を求めた)

問 改良住宅管理費の修繕料で、分譲に係る5件分の修繕料金はいくらか。

答 . . .

問 改良住宅管理費の修繕料で、分譲に係る5件分の修繕料金はいくらか。

答 . . .

問 質疑終了後、

反対討論の申し出あり

採決の結果、賛成多数(6-1)で可決

簡易水道会計決算

質疑、討論なし

採決の結果、全員賛成

(7-0)で可決

下水道会計決算

問 維持管理費の委託料のマンホール目視検査は、何年に1度実施しているのか。

答 7年に1度。八町、雨降野で実施した。

問 役場担当者が工事現場でヘルメット着用をしていない姿が見受けられるが。

答 以後、徹底する。

全体として

役場担当者が工事現場でヘルメット着用をしていない姿が見受けられるが。

以後、徹底する。



地域振興券の発行を



商工業者が主体的に検討されたい

西澤 きよただ 議員

質問

現在の経済状況は長引くデフレ、円高、地方経済にも大きく影響を落とし、町民の生活はますます苦しい状況にあります。そうした中、地域振興券の発行により、町内消費者、事業者のカンフル剤とするべき今一度発行について考えはあるのか。

町長

平成21年度に発行しました地域振興券は、国の経済対策の一環として地域活性化交付金を充てて実施したものです。ご指摘のとおり、長引く不況から脱却するカンフル剤にプレミアム商品券として町内消費の拡大と地域経済の活性化につながることを期待して発行しました。若干売れ残りしましたが、効果はあったと思っています。地域商工業の反映を担う商工会が主体的に利用者のニーズ、大型店舗と小売店の利用割合、地域内での消費に結びつけた取り組み等を検討され

るのであれば、行政としても検討していきたい。

太陽光発電の増進を

面積的な課題がある

質問

今年の夏は節電努力により計画停電は免れましたが、今後まだまだ不安な状況に変わりはありません。そうした中、2年目を迎えた太陽光発電の補助制度の利活用の状況はどうか。限度額30万円では、日本家屋に乗せるには躯体の補強など、今後の普及には問題点が多くあります。メガソーラーも含めて今後の増進について答弁を求める。

町長

平成23年度の実績では、太陽光発電申請件数は4件であり、来年度以降も引き続き補助制度を続けていきたいと考える。

また1,000kW以上の発電量を創出するのがメガソーラー発電です。1,000kW発電するには、設置面積が1ha以上で、パネルが1枚240Wで4,166枚以上のパネルが必要とされている。工事費については、約6億円程度であります。太陽光発電、これは今日的な課題であります。本町としては面積的な課題もあるが、種々検討していきたいと考える。

再質問

場所がないということだが、各字の公民館など、公共施設があれば、各字に対して補助金を出すなど、普

及してはどうか。自然のエネルギーを再度見直しするべきと考えるがどうか。

町長

準公共施設に一部の余地があると思います。ただ、施設の耐震等の問題がありますので、慎重に取り組まなければならないと思います。



淡路市 メガソーラー

一般質問

こころが聞きたい



佐々木康雄 議員

譲渡の基本方針どおり進んだか

平成24年度で完了予定が5戸のみ

質問

改良住宅譲渡に関する基本方針が平成21年9月24日に譲渡検討委員会で決定され、平成24年度で豊郷町全体の184戸を譲渡完了することになっていたが、進捗状況はどうか。

また5戸の譲渡の手続きはいつか。譲渡前修繕は公平か。本年度よりの機構変更による引継ぎは明確か。早期解決のため本年6月に新たな検討委員会の立ち上げを昨年より言ってきたが、9月にもない。どうしているのか答弁を。

上田地域振興主監

6月に新たな

検討委員会の設置予定であったが、課題や問題点を検討し、現在譲渡方針の見直し取り組み中。整えたら検討会を設置する。契約状況は平成23年8月25日から同年10月28日までの間で5戸の完了。修繕については、公平性を欠かないよう、再度入居者と協議に入り現在5

戸の修繕工事中。

鈴木住民生活課長

本年4月より

改良住宅譲渡推進チームを発足させ、譲渡取り組みをしている。

到達状況、課題など検討し、基本方針の見直しに取り組んでいる。改良住宅の担当課は地域整備課で課長も同じ。改良住宅の譲渡推進チームのリーダーは住民生活課長の鈴木。事業の引継ぎは組織全体として取り組んで基本方針の見直しをしている。

譲渡前修繕は公平か疑問だ

入居者間の差額でお叱りを

質問

譲渡前修繕は平成21年9月24日の検討委員会の最終結論で町提案どおり50万円と決定報告されているが、その後話し合いに入り現場を見て修繕費のアップが必要なら会の再開を行い了解を得る必要があったと思う。しかし議会の質問で判明し答弁のみで了解を得られたと行政側の勝手な判断を行い譲渡前修繕を行っている。これも個人的にしているように思うがどうか。

また、家によつては最低限の修繕とリフォームのような修繕内容があるがどうか。個人プレーでなく役場組織として相談しながらすればこの事は解決していたはずだ。その事で住民に疑惑を持たれたのではないか。答弁

鈴木住民生活課長

確かに、譲渡前

修繕は入居者の間で差が生まれた。私の方にもお叱りの苦情があり、私も今後の譲渡修繕にかかわる根本的な問題と判断しました。そこで私みずから地域整備課職員と回り、上限価格を設定すべきと反省しました。

また、個人プレーの指摘については、入居者からの意見や要望は組織内部で十分検討協議し住民の皆様には迷惑がからないうように隣家と整合性を図りながら実施したいと考えています。今後は反省点を踏まえ、譲渡方針の見直しをしたい。



中島 幸子 議員

保幼小中でのいじめの現状は

いじめは絶対許さないと教育の徹底を図る

質問

いじめ問題が、大津のいじめ自殺事件から大きな社会問題として連日報道されています。本町においては、対岸のことではなく日々身近な問題として取り組んでおられると思うが、現在の状況についてはどうか。

今年度の発生件数、また発生後の対処の方法などについて答弁を求める。

藤谷教育長

本町においても深刻に受けとめ、平成18年10月に出示された文部科学省の通知に示されたいじめ問題への取り組みについてもチェックポイントに基づき、各校において再度いじめの総点検を

実施し、定例の校園長会、教頭補佐会、また校園センター連絡会で報告を受け、ともに課題を共有しておりますが、再度、再点検するよう指示をいたしました。

今年度、教育委員会に報告がありましたはいじめ件数は6件で、内容は暴言や暴力、仲間外しでした。いじめの疑いがある事案は2件でありました。また、いじめの疑いのある事案は2件で、水をかけた、給食時における配膳の際の意地悪な単発事案がありました。今年度よりいじめそのものの疑いがあるという事項もカウントし、それぞれ対処しております。発生後の対処について

は、いずれの案件も認知した時点で、各校園管理職に直ちに報告するとともに、すぐに対策会議を開き、問題を共有し、複

数体制での聞き取り、状況の確認、事実確認をした上で、加害生徒には早期に個別指導を行い、反省を促しております。そ

の際、保護者にも事実報告と指導の経過を説明し、再発防止に向けた協力を求めています。もちろん、いじめの事案が発生した時点で、当該学級、学年、全校生徒にもいじめは絶対に許さないことの認識を培うための全校指導を行うとともに、被害者生徒を全面的に守り抜くための組織的な継続をした声かけ、寄り添いを行いながら見守っております。

いじめをしない、させない、許さない学校、園づくりを進めていくことを伝えました。

今後もしじめの未然防止に向けて、早期発見、早期対応に努め、いじめは絶対許さないという教育の徹底を図ってまいります。



なお、校園の全保護者には7月13日付けで、安全で安心して過ごせる学校、園づくりに向けてと題した文書を配布し、いじめは絶対許さないという毅然とした姿勢を保護者に示させていただき、

一般質問

ここが聞きたい

通学路の安全確保に路側線を

現地確認しできるだけ早く処理をする



西山 勝 議員

質問

数ヶ月前は、集
団登校の児童に

車両が突っ込み、死傷者
が多く発生した事故は、
私たちの記憶には新しい
ものです。しかし現状は、
大津市立皇子山中のいじ
めを受け、2年男子が自
殺した問題に認識は移行
しているように思います。
どちらも生命に関わる大
きな問題です。

町道石畑雨降野線は雨
降野区と八町区の小学校
の通学路になっています。
この町道は田園の中を一
直線で見通しが良いこと
から日増しに交通量も多
く、また、スピードを出
して走行する車が多く、
保護者や地域住民は児童
と車両の接触事故を危惧
しています。

道路の延長は928・
5m有り一部の区間40
0m程は、路側線が引い
てあります。後の800・
5mも道路幅が平均で
5・5m有り車道として
3・65mを基準に路側
線の検討をお願いしたい。
歩道または、グリーン

一般質問

ここが聞きたい

防災倉庫の周辺整備を

防災倉庫の表示や設置は検討

質問

地震災害、豪雨
災害時における

地域の避難所、病院
福祉施設等に配送また救
援物資を受け入れ、命を
守る拠点が防災倉庫だと
私は思います。現状の防
災倉庫は町民に見える表
示がなく救援物資を受け
入れ積替、配送をするに
あたり車両の待機場所も
なく緊急時円滑な輸送が
できるか疑問です。

土地地域整備課長

豊小の
通学路

グリーンベルト新設は道路
維持管理上難しいが歩行
者が安全に活用していた
だけよう現地を確認し
ましてできるだけ早く処
理できるとの検討してい
きたいと思えます。



が災害時全町内対応で
きないので。
現状をどのように考え
るか。

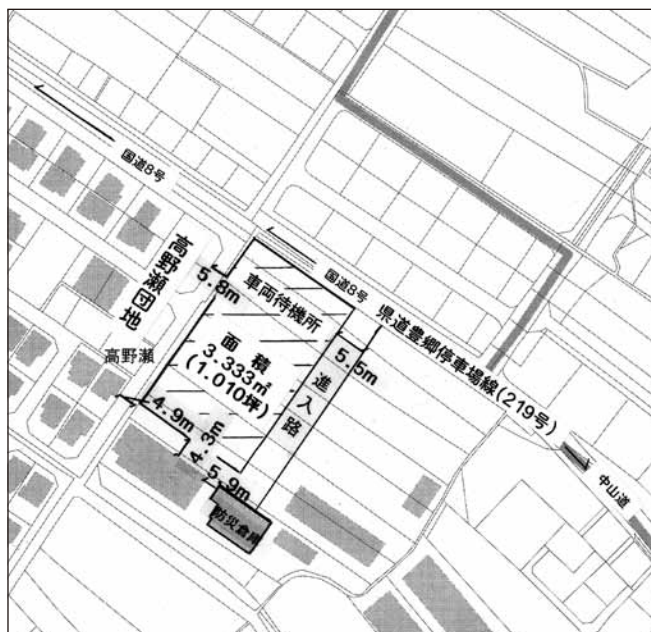
村田総務企画課長

1点目
防災倉

庫は見やすい箇所に表示
することが重要と考え表
示を

示をしていきます。2点
目町と農業者との契約に
より待機場所にすること
は困難。3点目新たな進
入路は考えておりません。
4点目ご指摘の通り危険
ですので排水溝の改良に
ついては実施していきたく
いと考えております。5
点目農業施設の給水用と
して使われている現状で
あり撤去は困難。6点目
平成25年度の庁舎耐震補
強に伴い防災倉庫の設置
については検討してまい
りたい。

別紙参考①町民に見え
る表示を ②県道より車
両等の待機場所に面積3
333㎡を ③県道より
直接進入できる5・5m
幅の進入路の確保を ④
防災倉庫進入口の排水溝
の改修（鉄板曲がって危
険） ⑤軽車両において
も進入がしにくいため、
ポンプ庫の撤去 ⑥現在
防災倉庫は、一箇所であ



小児科医師の確保は

合意を得る見込み



西澤 博一 議員

質問

平成24年3月議会に、小児科医師の確保について質問しました。合意ができれば平成25年度はオッケーということでした。どのような合意ができたのか、それとも合意はできなかったのか答弁を。

北川保健福祉課長(保険担当)

今年度に入り彦根、愛知、犬上各市町と調整を行い、去る8月2日に滋賀医科大学のほうに出向き提示をさせていただき、大筋合意を得る見込みで話しをさせていただいている。

再質問

①大筋合意ができた内容、また、支援金の中の具体的に説明を。

②豊郷病院との関係をどのような形で進めていくのか。

③犬上3町と愛荘町との協議の中で豊郷病院、滋賀医大、保険所とどのような方向性を持って実現されるのか答弁を。

北川保健福祉課長(保険担当)

支援をしていただきたい医師の人員費分というふうに考えておりますので、豊郷病院との連携をとり、横の連携を密にししながら進めていきます。検討しております中で、滋賀医大と今後進めていき、合意に持っていきたい。

再々質問

人件費等は、平成25年度の当初予算の中に反映されるのか。

町長

概ね了解のもとで当初予算にはそのような形で4町が予算組みすると思えます。

愛里保育園の施設拡充は

施設改修等、可能な範囲で検討する

質問

保護者方の意見、要望等を拝聴しますと、次の点をいっておられます。

①園児数に対して、園児室が不足している。また、遊戯室を教室に利用しているのも、もう少しゆとりあるスペースは確保できないか。

②運動会の際に広場が狭いので、もう少し広くなりませんか。

神辺保健福祉課長

必要な人数の保育士の確保というのが難しいという事務的な問題も生まれているのが現実です。運営面も含めて今後検討していきたい。保育園舎側のほうに一部通路を残して、可能な範囲で拡張することができないか。来年度の当初予

算に反映できるように考えております。

再質問

提案として浴室の改修、広場を有意義に使えるかということを考えていただきた

神辺保健福祉課長

国費起債等が入っておりますので、補助金の適化法をクリアしないと、お風呂の改修、教室、一時保育、お昼寝の場所にするなど、今後検討していきたい。新年度予算のほうで反映したい。広さというのが、7m×20mということで、140㎡ぐらい拡張できるのではないかと思っております。

再々質問

浴室を利用できるような状況に。

神辺保健福祉課長

施設改修等は、可能な範囲、今後も検討させていただきたい。保育士の確保をするということが、人数だけではなく、何歳の子どもが入るかということも関係してきますので、今後検討していきたい。

中学校給食の進捗状況は

実現に向け努力する



北川 和利 議員

質問

豊田中学校の給食実現に向けては、今まで数回質問がなされ、その都度、答弁されているが、今現在、どのような方式でいつ頃実施を計画されているのか。また、児童生徒、保護者、学校現場の意見をどのくらい反映されているのか。

加藤教育次長

センター方式、ランチルームで平成27年4月から実施を計画しています。また、児童、生徒、保護者、学校現場では、学校にランチルームを建築し、給食を実施することについて学校長より説明を行っている。また、給食を導入することにより、教師の負担増につながるかどうか検討し、ランチルームで一斉に食することにより、生徒の指導上、生徒の掌握がしやすく、負担が軽減できることから、学校として方針をとりまとめられました。保護者にはPTA本部役員会において学校

としての方針を伝えた。

再質問

保護者数名にお尋ねしたところ、早く給食を実施してほしいと。また、センター方式か自校方式どちらがいいのかもお尋ねしましたら、方式はどちらでもいい。とにかく、給食を早く実施してほしい。なおかつ、町民に負担のかからないようなやり方やってほしいという意見を聞きました。できるだけ早く給食を実現できるように願いたい。

町長

湖東定住自立圏で彦根市と豊郷町と協定を変更する議案に給食の件を上げさせていただきます。ご理解いただけます。ご理解いただき議決していただけたら、早急に実現に向けて努力してまいります。

小中学校におけるいじめ等の現状について

迅速に対応している

質問

大津市でのいじめ自殺問題から今回何人かの同僚議員からも質問されているが、昨年度並びに1学期の発件数、対処マニュアルについて答弁を求める。

藤谷教育長

昨年度のいじめ件数は2件であります。内容は、登下校時の暴力が1件、仲間外しが1件。対処マニュアルは、文化省、県教委手引きに基づき各校で作成しましたわが校のストップいじめアクションプランに基づいた手順で、迅速に対応しています。

再質問

大津の自殺から、約1週間前にも中学生が自殺したという

事件が起こりました。学校だけの問題ではなく、父兄が本当にどこまで子どものことを把握し、学校・教育委員会として、どこまでの指導をされているのか。

どすべての連携を強化していく。

藤谷教育長

急ぎよ、保護者会懇談会で徹底して保護者の方に校園のいじめに対する考え方を、また現状を尋ね、伝え、また子どもさんの現状をお聞きしました。また、保護者アンケートを2学期に実施するよう進めています。父兄に届ける情報とあわせて家庭におけるいろいろな話し合いは、子どもも本当に期待するところだと思います。今後、一層深めながら、学校、家庭、地域な



鈴木 べんいち 議員

すべての子どもたちの命が輝く

安心・安全な学校づくりを — 大津のいじめ問題から —

深刻に受け止めている

質問

大津のいじめ、自殺事件が連日大きく報道されていますが、今大事な事は二度とこのような悲しい事件を繰り返さないようにする事です。全国で「うちの子どもはうちの学校は大丈夫だろうか」と言う心配が広がっていますが、その心配は本町においても同じだと思えます。本町では、子どもたちの命を守り、命が輝く安心安全な学校づくりをどのように進めているのか。

藤谷教育長

いじめに よって生徒が自ら命を絶つという事は、理由を問わず大変傷ましい事件であり、

質問

極めて深刻に受け止めています。・・・学校の教育方針、経営方針を保護者・地域の皆さんにも周知しながら、自他の命を尊重し、命が輝く豊郷の子どもを育てる事を目指し、社会総がかりで子育てが行えるよう、開かれた学校づくりに力を入れたい。

質問

自殺は自己否定ですから、その対極にあるのは自己肯定です。私は問題の解決のためには、具体的な事象に対する対応だけではなく、自己肯定感を育てる、子どもと子ども、子どもと教師が人として繋がりがあいい、すべての子ども



もたちの可能性を信じ、すべての子どもたちの「出番」がある「居場所」がある学校を作る事が重要だと考えます。子どもたちは、毎日大人にいろんなメッセージを発信し

て来ます。そのメッセージを家庭、学校でどう受け止めるか。子どもたちの命の表現を受け止める事が出来る地域、学校づくりが大切ではないか。

給食検討委の設置を

設置しない

質問

6月議会でも質問したが、改めて給食検討委員会の設置を求める。

設置しない場合はその理由を明らかにされたい。

町長

設置しない。理由は、可能性があれば検討するのが本来だが、庁内で検討した結果、自校方式にした場合の調理施設を作るスペースが学校になく、選択肢がないこと。何より、学

再質問

始めて、学校やPTAの役員会に既に説明したと報告を受けたがどのような意見があったのか。この問題は、町政運営の根幹に係る重大な問題を含んでいる。町長は、昨年5月の所信表明において「町民のみなさんがたの声に耳を傾け、町民が主役の町政運営を図り」といって述べている。

「自校方式・ランチルーム方式による給食早期実施申請」は10001人になった。「町民の声に耳を傾ける」と言うなら、これらの町民の声に応え（どのような方法で）早期に給食を実施するための検討委員会の設置を再度、求める。

町長

学校側の意見を最大限尊重した。

一般質問

こころが聞きたい



湖東定住自立圏での 各項目の進捗状況は

各市町連携のもと鋭意取り組みを展開 西村 雄三 議員

質問

平成22年より当該自立圏構想が始まって各分野での政策協定を結び前進して頂いていますが、現時点までの進捗状況を具体的に説明して頂きたい。どの分野に重点を置きたいのか、また新たな協定を考えておられるのか、また同時に政策協定の不具合があるか否かもお知らせ下さい。

村西政策調整室長

3つの政策分野を柱として取り組みを進めています。

生活機能の強化に係る政策分野では、医療圏地域医療再生計画に基づいて豊郷病院に回復期リハビリ病棟施設の整備の支援を行い当5月に開所、次世代育成支援として彦根市で実施していますファミリーサポートセンター事業の圏域内のサービスマニピを9月より新たに開始。地域創造事業のイベント等を実施しNP

〇法人や各種団体の活動を支援して地域資源の掘り起こしや地域の活性化に努めている。

結びつきネットワークの強化に係る政策分野では予約型愛のりタクシーの本格運用を実施、自転車を利用した通勤通学、観光のルートマップを策定、圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野では政策形成能力養成研修や管理職研修を実施しており、またコンピュータシステムの共同利用、共同開発の取り組みとして災害情報のメール発信システムを9月から開始、11月から共通事務支援システム共同利用に向けた取り組みを進めている。

形成協定において平成22年12月に人材の育成、有害鳥獣対策の推進の追加、さらに本定例会で学校給食センターの整備運営、また経済の活性化並びに雇用の創出及び確保について彦根市と協議のもと今般形成協定の審議

をお願いしている。

新たな政策分野の協定の追加は考えていない。政策協定の不具合の件ですが1市4町の行政職員での13の部会と民間で構成する共生ビジョン懇談会を設置して各市町の連携のもと鋭意取り組みを展開して不具合はないと

考えています。

公有の遊休地の利活用を是非

あらゆる角度から検討を要する

質問

東日本大震災から早1年6か月経ちました。原子力発電の災害で日本国中を恐怖に陥れました。原子力に代わる代替エネルギーを早急に創らないと現代文明の生活が維持できません。それ故に当町所有の遊休地を利用して太陽光発電の装置を設置して少しでもエネルギー分野で社会貢献できたらと思

町長

本町所有の遊休地の最も大きな土地は屠場跡地で3,737㎡です。住宅に隣接している土地で管理運営上、また発電量等もいろいろ問題があるか不明、あらゆる角度から検討を要すると思われ



自校方式給食を中学校で 選択しない理由は？



豊郷町にはセンター方式が最適である 今村恵美子 議員

質問

前回、6月議会に、自校方式によるランチルーム給食の「請願」が出され継続審査中です。しかし、町は自校調理給食を中学校では選択せず彦根市給食センター加入を進めています。なぜか？

町長

中学校敷地内での建設が無理、安心して安全な給食が提供できる、今以上に学校側に負担をかけたくない、コストが安いなどです。

再質問

センター方式の問題は、センターから給食を配送するので食べる時間に合わせた調理ができない。また、大量調理なので手のこんだ調理もできない。そして地元産の食材も使いにくく、栄養士からの食育教育もむずかしくなり、防災の拠点とし炊き出し機能も発揮できません。1,000人を超える住民署名の請願について町長が耳を傾けていただけ

ないのは非常に残念です。町長がセンター方式ばかり強調する理由は？

町長

彦根市とセンター方式でやるのが一番最適だと思っ

再々質問

町民全体に自校方式とセンター方式の事実を知らせて、どちらを選択するか町民の合意で進めるべきではないですか。

町長

価値観の問題だと思います。アレルギー食対応も給食センターが安全で進めていきます。

いきがい協働センターを 高齢者憩いの場へ

高齢者の積極的な利用に努めます

質問

いきがい協働センターは、高齢者のいきがい対策として国の交付金を受け建設されました。現在町はすまいるたうんばすの停留所も作りましたがバスから降りて立ち寄る高齢者はほとんどいません。そこで、定期的にセンターの交流室を無料開放して憩いの場として使える企画も考えていただきたいと思

神辺保険福祉課長

地域の高齢者

野村産業振興課長

地元の高齢者

思います。ですが、高齢者同士がセンターに寄って気楽に過ごせる企画はないですか。

再質問

センターを利用し農産物で頑張っておられる高齢者もいますが、高齢者同士がセンターに寄って気楽に過ごせる企画はないですか。

野村産業振興課長

今月、ボランティア

神辺保険福祉課長

老人会の方々

ティアグループ、ぼっちゃんカフェが誕生し地場野菜を使った昼食を提供し始めました。さらに高齢者の利用促進を進めます。

とも協議しながら、現在取り組んでいる事業が定着した後、検討していきます。

一般質問

こころが聞きたい

メガソーラーと風力発電・震災は 3 常任委員会合同研修

去る10月11日にあわじメガソーラーIを議員11人で研修しました。1. 5haの県有地を借用し、市役所・津名浄化センター・防災あんしんセンターの3か所に電気を使っていた。3施設で1,000kWの施設容量で年間発電量は一般家庭の約300世帯分また約330tのCO₂削減効果(甲子園の約24個分森林面積)があるとの説明。その後冬期では風が強い立地を利用して風力発電を行う現場へ移動し建設までの経過や課題解決等の説明を受け2か所で多くの質問等をして研修を深めました。

翌10月12日は神戸市にある阪神・淡路大震災記念、人と防災未来センターで東日本大震災のこと・地震体験・今後の地震対策等多くの学習をしました。この2日間の研修で学んだことを、今後の豊郷町で大いに役立てたいと思ひ、研修地を後にしました。



彦根・愛知・犬上 市町議会議長会議員研修会

日時 平成24年10月1日(月)
場所 多賀町総合福祉保健センター

講演 「住民とともに歩む議会のあり方」

講師 前三重県議会事務局次長 高沖秀宣 氏

1. 現状認識
2. 「議会不要論」にどう対応するか
3. 住民に信頼される議会は
4. 議会改革とは

上記4項目を主テーマに当町10議員参加して勉強する。



編集後記

秋晴れの下で、元気に楽しく開催された保幼小学校、町民運動会が終わり、朝夕めっきり寒く感じる今日このごろです。間もなく野山の紅葉がたのしみです。

10月初旬の新聞のコラムに被災地と無関係の事業が復興予算として使用されたと掲載。その後、政府は修正のようだ。「本心かな?」。また、この予算は基本方針に「豊かで活力ある日本全体の再生を実現する」との短い文言で官僚が実施しようです。豊郷町でもこれによく似た改良住宅の譲渡方針の悪用か?が修繕支払いに判明した。どちらも明日の国民、住民のため反省が必要か。皆様の広報に對するご意見をお願いします。

(佐々木 康雄)

発行責任者 議長 堀 常一
 広報特別委員会 委員長 西村 雄三
 副委員長 西澤 博一
 委員 佐々木 康雄
 西澤 さよた
 前田 広幸